

福岡市科学館特定事業

審査講評

平成 27 年 10 月 20 日

福岡市科学館に係る事業者検討委員会

福岡市科学館に係る事業者検討委員会（以下「事業者検討委員会」という。）は、福岡市科学館特定事業（以下「本事業」という。）に関して、優先交渉権者決定基準（平成 27 年 7 月 7 日公表）に基づき、提案内容等の審査を行いましたので、審査結果及び審査講評をここに報告します。

平成 27 年 10 月 20 日

福岡市科学館に係る事業者検討委員会
委員長 麻生 茂

目 次

1	事業者検討委員会の構成	1
2	事業者検討委員会の開催経過	1
3	審査の方法	2
4	審査の結果	2
	(1) 参加資格審査.....	2
	(2) 提案審査.....	2
5	審査講評	6
	(1) 性能審査加点項目の講評.....	6
	(2) 総評.....	10

1 事業者検討委員会の構成

事業者検討委員会の構成は、以下のとおりである。

委員長	麻生 茂	九州大学大学院工学研究院 教授
副委員長	伊藤 明夫	北九州市立いのちのたび博物館 元館長
委員	青木 崇	株式会社日本政策投資銀行九州支店 企画調査課長
〃	高宮 由美子	特定非営利活動法人子ども文化コミュニティ 代表理事
〃	高山 峯夫	福岡大学工学部 教授
〃	堤 一夫	福岡市小学校理科学研究会 副会長
〃	松本 勉	福岡市こども未来局こども部 部長

2 事業者検討委員会の開催経過

事業者検討委員会の開催経過は、以下のとおりである。

日程	会議名	主な議題
平成 27 年 1 月 20 日	第 1 回事業者検討委員会	事業概要について、応募（参加資格）について、展示カテゴリーの設定について、展示手法について
平成 27 年 2 月 18 日	第 2 回事業者検討委員会	実施方針（案）について、要求水準書（案）について
平成 27 年 4 月 30 日	第 3 回事業者検討委員会	新しい科学館の正式名称について、事業者選定に係る審査項目・基準・配点について、契約書案（支払方法・モニタリング）について
平成 27 年 8 月 18 日	第 4 回事業者検討委員会	審査スケジュールについて、審査の進め方について、審査講評の作成方針について
平成 27 年 9 月 29 日	第 5 回事業者検討委員会	提案審査
平成 27 年 10 月 6 日	第 6 回事業者検討委員会	提案内容に関するヒアリング、提案審査、最優秀提案・次点提案の決定
平成 27 年 10 月 16 日	第 7 回事業者検討委員会 （書面評決）	審査講評

3 審査の方法

審査は、事業者の参加資格を審査する「参加資格審査」、提案内容等を審査する「提案審査」に分けて実施した。

「参加資格審査」では、応募者の参加資格について、市が募集要項等（平成 27 年 7 月 7 日公表）の参加資格要件に基づき審査を行った。

「提案審査」においては、市が提案価格の確認及び基礎審査を行い、事業者検討委員会が優先交渉権者決定基準に基づき、具体的な提案内容の審査及び評価を行った。

4 審査の結果

(1) 参加資格審査

平成 27 年 8 月 12 日に、3 グループから参加資格審査書類の提出があり、募集要項等に示す参加資格の要件の具備について審査した結果、いずれのグループも参加資格を有していることを確認し、平成 27 年 8 月 20 日付けで、参加資格の審査結果を各グループへ送付するとともに、いずれのグループも参加資格を有する旨を公表した。

(2) 提案審査

ア 提出書類及び提案価格の確認

参加資格を有する 3 グループから提案審査書類が提出され、3 グループの提出書類がすべて募集要項等の指定どおりに揃っていること、更に提案価格書に記載された提案価格が予定価格の範囲内であることを市が確認した。

イ 基礎審査

基礎審査の対象となった 3 グループの提案内容が優先交渉権者決定基準に掲げる基礎審査項目の審査基準をすべて満たしていることを市が確認した。

ウ 性能審査

事業者検討委員会は、優先交渉権者決定基準に基づき、参加グループ名を伏せた「提案受付番号 14」、「提案受付番号 33」、「提案受付番号 46」として性能審査を行った。

性能審査については、以下の 5 段階の基準により評価を行った。

なお、各評価の評価指標の解釈については、事業者検討委員会での審議に基づき、下表のとおり読み替えることとした。

【加点基準】

評価	評価指標	加算割合
A	当該評価項目において非常に優れている	配点×1.0
B	当該評価項目において優れている	配点×0.75
C	当該評価項目において優れている部分が認められる	配点×0.5
D	当該評価項目において適切な提案がなされている	配点×0.25
E	当該評価項目において要求水準を最低限満たしている	配点×0.0

性能審査の結果は、以下のとおりである。

加点点目		配点	提案受付番号 14		提案受付番号 33		提案受付番号 46	
			評価	評点	評価	評点	評価	評点
事業計画								
事業計画の妥当性	資金調達計画の安定性	10	C	5.0	C	5.0	C	5.0
	事業収支計画の安定性	30	C	15.0	B	22.5	C	15.0
リスク管理の継続性及び事業の確保	事業継続の安定性	20	D	5.0	C	10.0	C	10.0
	リスク管理の考え方							
地域社会、地域経済への貢献		50	B	37.5	C	25.0	B	37.5
事業計画小計		110		62.5		62.5		67.5
初期整備								
施設全体計画	内装、意匠計画	10	C	5.0	C	5.0	D	2.5
	諸室配置、動線計画	10	D	2.5	B	7.5	D	2.5
	設備計画							
	ユニバーサルデザインへの配慮	10	C	5.0	C	5.0	C	5.0
サイン計画								
基本展示室・基本展示計画	基本展示フロア(5階部分)の空間計画	80	C	40.0	B	60.0	D	20.0
	基本展示計画							
その他諸室計画	ドームシアター(プラネタリウム)整備計画	30	C	15.0	B	22.5	B	22.5
	サイエンスホール整備計画	30	C	15.0	B	22.5	D	7.5
	その他の各室の整備計画	20	C	10.0	B	15.0	C	10.0
その他	施設整備に関する体制及びモニタリング	50	C	25.0	C	25.0	C	25.0
	施工計画、建物本体工事との調整							
初期整備小計		240		117.5		162.5		95.0
開業準備								
開業準備計画	科学館稼働に向けた開業準備計画	10	C	5.0	D	2.5	C	5.0
	少年科学文化会館機能の補完業務	20	C	10.0	C	10.0	C	10.0
開業準備小計		30		15.0		12.5		15.0
維持管理								
維持管理	維持管理業務体制	70	D	17.5	D	17.5	C	35.0
	維持管理業務内容							
修繕計画(展示更新を除く)		20	D	5.0	D	5.0	C	10.0
維持管理小計		90		22.5		22.5		45.0

運営									
運営全般	運營業務の全体方針								
	開館日、開館時間、料金設定	30	C	15.0	C	15.0	D	7.5	
	運営体制、雇用条件設定の考え方								
展示事業	基本展示事業に関する運営計画		50	C	25.0	B	37.5	D	12.5
	基本展示更新計画及び更新の考え方								
	企画展示事業に関する実施・運営方針								
ドームシアター事業	ドームシアター事業に関する運営計画		50	C	25.0	C	25.0	C	25.0
	投影計画、自主番組制作方針・計画								
その他教育普及事業	演示、体験学習の実施計画		50	C	25.0	C	25.0	C	25.0
	学校連携、アウトリーチ活動等の実施計画								
	教育普及事業におけるプログラム等制作方針・計画								
交流事業	地域交流、ファンづくりに関する実施計画		40	C	20.0	C	20.0	C	20.0
	広報・情報発信の実施計画								
人材育成ネットワーク形成事業	子どもの参画やボランティア養成の実施計画		30	B	22.5	C	15.0	C	15.0
	科学館連携ネットワークの活用方針								
サイエンスホール	サイエンスホールの運営計画		30	C	15.0	C	15.0	C	15.0
	諸室貸出管理業務の実施計画(企画展示室等を含む)								
その他、運營業務の実施方針			10	B	7.5	C	5.0	D	2.5
自主事業実施計画	必須事業		20	C	10.0	B	15.0	C	10.0
	任意事業								
モニタリング及び事業改善に関する実施計画			20	C	10.0	D	5.0	C	10.0
運営小計			330		175.0		177.5		142.5
性能評価点 計			800		392.5		437.5		365.0

エ 価格審査

提案価格に対して、最低提案価格を基準とし、次式で価格評価点を与える。

$$\text{価格評価点} = 200 \text{ 点} \times \text{最低提案価格} / \text{提案価格}$$

価格評価点の計算にあたっては、小数点第一位以下を四捨五入とし、価格審査結果は、以下のとおりである。

	提案受付番号 14	提案受付番号 33	提案受付番号 46
提案価格 (円)	10,149,631,530	10,315,113,520	10,266,487,503
価格評価点	200	197	198

※提案価格には、消費税及び地方消費税を含まない。

オ 最優秀提案の選定

事業者検討委員会において、性能評価点（性能審査点）と価格評価点を合計して総合評価点を算出した。

	提案受付番号 14	提案受付番号 33	提案受付番号 46
性能評価点 (性能審査点)	392.5	437.5	365.0
価格評価点	200	197	198
総合評価点	592.5	634.5	563.0

事業者検討委員会は、総合評価点が第1位となった「提案受付番号 33」を最優秀提案、第2位となった「提案受付番号 14」を次点提案として選定した。

5 審査講評

(1) 性能審査加点項目の講評

【事業計画】

加点項目	審査講評
・資金調達計画の安定性	・いずれのグループも、資金調達手段や金融市場の変動リスクへの対応について、適切な提案がなされていた。また、金融機関等との事前協議の状況から、確実性のある資金調達計画であると評価された。
・事業収支計画の安定性	<ul style="list-style-type: none"> ・提案受付番号 14 は、展示更新費の収支特性や不測の資金需要等を踏まえた収支計画の安定化に対する細やかな提案がなされており、評価された。 ・提案受付番号 33 は、展示更新費の収支特性に配慮された提案や不測の資金需要等への対応が評価された。また、利用料金収入等の想定については、事業収支計画の安定性に配慮された設定となっており、評価された。 ・提案受付番号 46 は、全般的に事業収支の安定化に関する具体的な提案がなされており、評価された。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業継続の安定性 ・リスク管理の考え方 	<ul style="list-style-type: none"> ・提案受付番号 14 は、各項目において適切な提案はなされているものの、特筆すべき提案内容はなかった。 ・提案受付番号 33 は、不測の事態発生時における対応等について具体的に提案されており、評価された。 ・提案受付番号 46 は、事業実施に係るリスク分析が詳細かつ丁寧に検討されている点が評価された。
・地域社会、地域経済への貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・提案受付番号 14 及び提案受付番号 46 は、地場企業の活用方策や地元雇用の促進などの地域経済への貢献に対する取組について、具体的かつ積極的な提案がなされており、評価された。 ・提案受付番号 33 は、地域経済の貢献への一定の配慮がなされた提案であった。

【初期整備】

加点項目	審査講評
・内装、意匠計画	<ul style="list-style-type: none"> ・提案受付番号 14 は、各フロア別のテーマに応じて工夫を凝らした演出が計画されており、空間演出等に特徴がある提案が評価された。 ・提案受付番号 33 は、分かりやすいフロア別のテーマ設定を計画した上で、高揚感創出の工夫や利用者の交流促進等に特徴がある提案が評価された。 ・提案受付番号 46 は、空間デザインの具体的な工夫の提案が評価された。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 諸室配置、動線計画 ・ 設備計画 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 提案受付番号 14 は、建物本体工事への影響について配慮された計画であったとともに、混雑時にも配慮した空間計画が評価された。なお、一部の設備計画の提案については、その効果等に懸念があった。 ・ 提案受付番号 33 は、全体的に検討熟度の高い提案となっており、特に、諸室配置や動線計画について、各諸室の特性を踏まえた効果的な計画や混雑時にも配慮した空間計画が提案されており、評価された。 ・ 提案受付番号 46 は、建物本体工事への影響について配慮された計画となっていた。
<ul style="list-style-type: none"> ・ ユニバーサルデザインへの配慮 ・ サイン計画 	<ul style="list-style-type: none"> ・ いずれのグループも、各項目において具体的かつ独自の提案がそれぞれなされており、評価された。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本展示フロア（5 階部分）の空間計画 ・ 基本展示計画 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 提案受付番号 14 は、市の求めるストーリー性を考慮した提案となっており、基本展示計画における具体的な工夫等も評価された。 ・ 提案受付番号 33 は、市の求めるストーリー性を考慮した提案となっており、オープンラボの独自の提案や、具体性のある展示内容の検証方法に関する提案も評価された。 ・ 提案受付番号 46 は、基本展示フロアの空間計画や基本展示計画について独自の提案がなされていたが、対象とする年齢層が限定的になることへの懸念があった。
<ul style="list-style-type: none"> ・ ドームシアター（プラネタリウム）整備計画 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 提案受付番号 14 は、投影システムについて高水準な仕様が提案されており、評価された。 ・ 提案受付番号 33 及び 46 は、投影システムや各種設備について高水準な仕様が提案されており、評価された。また、業務運営に配慮した具体的な提案がなされており、評価された。
<ul style="list-style-type: none"> ・ サイエンスホール整備計画 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 提案受付番号 14 は、ホワイエについて、混雑時の対応や多様な活用方法に配慮した計画となっており、評価された。 ・ 提案受付番号 33 は、ホール空間計画、舞台システム計画について、運営面での利用しやすさに配慮された提案となっており評価された。また、ホワイエについても、混雑時の対応や多様な活用方法に配慮した計画となっており、評価された。 ・ 提案受付番号 46 は、各項目において適切な提案がなされているものの、特筆すべき提案内容はなかった。
<ul style="list-style-type: none"> ・ その他の各室の整備計画 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 提案受付番号 14 は、各項目において具体的かつ独自性のある提案がなされており、評価された。 ・ 提案受付番号 33 は、各項目において具体的かつ独自性のある提案がなされており、特に、要求水準にはない新たな諸室提案については評価された。 ・ 提案受付番号 46 は、各項目において具体的かつ独自性のある提案がなされており、評価された。

<ul style="list-style-type: none"> ・施設整備に関する体制及びモニタリング ・施工計画、建物本体工事との調整 	<ul style="list-style-type: none"> ・いずれのグループも、本事業の特性である建物本体工事との連携に配慮した具体的な提案がなされており、評価された。
---	---

【開業準備】

加点点項目	審査講評
<ul style="list-style-type: none"> ・科学館稼働に向けた開業準備計画 	<ul style="list-style-type: none"> ・提案受付番号 14 は、段階的な実施体制の構築について具体的な提案がなされており、評価された。 ・提案受付番号 33 は、事前広報業務については実施体制の特性を活かした実効性が期待できる提案がされているものの、実施体制の構築や人材育成・ネットワーク形成事業については、特筆すべき提案はなかった。 ・提案受付番号 46 は、事前広報業務の具体的な計画や人材育成・ネットワーク形成事業の早期の取組に関する提案が評価された。
<ul style="list-style-type: none"> ・少年科学文化会館機能の補完業務 	<ul style="list-style-type: none"> ・いずれのグループも、段階的な実施体制が具体的に提案されているとともに、実効性が期待できる補完業務の実施計画が評価された。

【維持管理】

加点点項目	審査講評
<ul style="list-style-type: none"> ・維持管理業務体制 ・維持管理業務内容 	<ul style="list-style-type: none"> ・提案受付番号 14 及び 33 は、各項目において一定水準の提案がなされていた。 ・提案受付番号 46 は、即応性に配慮した実施体制やモニタリング方法等の本施設の特性を踏まえた具体的な提案が評価された。
<ul style="list-style-type: none"> ・修繕計画（展示更新を除く） 	<ul style="list-style-type: none"> ・提案受付番号 14 は、事業期間終了後を見据えた具体的な方策は提案されているものの、一部機器の特性に配慮した修繕計画の面から懸念があった。 ・提案受付番号 33 は、事業期間終了後を見据えた具体的な方策は提案されているものの、特筆すべき提案はなかった。 ・提案受付番号 46 は、運營業務への影響に配慮した具体的な提案がされているとともに、具体的かつ手厚い修繕計画が提案されており、評価された。

【運営】

加点点項目	審査講評
<ul style="list-style-type: none"> ・運營業務の全体方針 ・開館日、開館時間、料金設定 	<ul style="list-style-type: none"> ・提案受付番号 14 は、市民を主役とした科学館としての運営姿勢がうかがわれる提案となっており、評価された。 ・提案受付番号 33 は、開館時間等の設定について、他の提案項目等と

<ul style="list-style-type: none"> ・運営体制、雇用条件設定の考え方 	<ul style="list-style-type: none"> も連動した独自の提案がなされており、評価された。 ・提案受付番号 46 は、運営体制における職員配置計画や指揮命令系統について、その実効性に懸念があった。
<ul style="list-style-type: none"> ・基本展示事業に関する運営計画 ・基本展示更新計画及び更新の考え方 ・企画展示事業に関する実施・運営方針 	<ul style="list-style-type: none"> ・提案受付番号 14 は、特に展示案内や展示学習に関する独自の提案がなされており、評価された。 ・提案受付番号 33 は、基本展示の更新の考え方について、外部組織と連携した上で実効性の高い仕組みが提案されており、評価された。また、全体的に具体的な提案がなされており、評価された。 ・提案受付番号 46 は、各項目において一定水準の提案はされているものの、基本展示更新計画について懸念があった。
<ul style="list-style-type: none"> ・ドームシアター事業に関する運営計画 ・投影計画、自主番組制作方針・計画 	<ul style="list-style-type: none"> ・いずれのグループも、本事業の要求水準を理解した上での独自の提案がそれぞれ具体的に提案されており、評価された。
<ul style="list-style-type: none"> ・演示、体験学習の実施計画 ・学校連携、アウトリーチ活動等の実施計画 ・教育普及事業におけるプログラム等制作方針・計画 	<ul style="list-style-type: none"> ・提案受付番号 14 は、本事業の要求水準を理解した上での具体的な提案がなされており、特に学校教育との連携における実施内容や、幅広い連携体制に基づく教育普及事業の取組の提案が評価された。 ・提案受付番号 33 は、本事業の要求水準を理解した上での具体的な提案がなされており、特に実効性が期待できる外部組織との連携体制の提案が評価された。 ・提案受付番号 46 は、本事業の要求水準を理解した上での具体的な提案がなされており、特に市民参加型の独自のプログラムが具体的に提案されており、評価された。
<ul style="list-style-type: none"> ・地域交流、ファンづくりに関する実施計画 ・広報・情報発信の実施計画 	<ul style="list-style-type: none"> ・いずれのグループも、本事業の要求水準を理解した上での独自の提案がそれぞれ具体的に提案されており、評価された。
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの参画やボランティア養成の実施計画 ・科学館連携ネットワークの活用方針 	<ul style="list-style-type: none"> ・提案受付番号 14 は、子どもの参画やボランティア養成の実施計画について、日常的かつ継続的な活動が期待できる取組が提案されており、評価された。 ・提案受付番号 33 は、子どもの参画やボランティア養成の実施計画について、世代間交流を重視した段階的なプログラムに関する提案が評価された。 ・提案受付番号 46 は、子どもの参画やボランティア養成の実施計画について、幅広い世代がボランティアとして参画できる仕組みなどの具体的な提案が評価された。
<ul style="list-style-type: none"> ・サイエンスホールの運営計画 ・諸室貸出管理業務の実 	<ul style="list-style-type: none"> ・提案受付番号 14 は、サイエンスホールの運営計画について、市民の文化・芸術活動の支援の観点からの独自の取組が具体的に提案されており、評価された。

<p>施計画（企画展示室等を含む）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 提案受付番号 33 は、サイエンスホールの運営計画について、展示室やドームシアターとの連携した活用方法が具体的に提案されており、評価された。 ・ 提案受付番号 46 は、サイエンスホールの運営計画について、本施設の立地特性を踏まえた独自の取組が具体的に提案されており、評価された。
<p>・ その他、運営業務の実施方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 提案受付番号 14 は、利用者の安全性確保の工夫への配慮や、情報ライブラリーの運営計画、企業出展ブースの実施計画について、具体的かつ効果的な提案がされており、評価された。 ・ 提案受付番号 33 は、情報ライブラリーの運営計画及び企業出展ブースの実施計画について、具体的かつ実効性のある提案がなされており、評価された。 ・ 提案受付番号 46 は、本事業の要求水準が理解された提案であったが、全体としては、特筆すべき提案はなかった。
<p>・ 自主事業実施計画（必須事業、任意事業）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 提案受付番号 14 は、特にミュージアムショップの具体的かつ独自の提案がなされており、評価された。 ・ 提案受付番号 33 は、任意の自主事業として、新しい科学館の特色となるような具体的な取組が提案されており、評価された。 ・ 提案受付番号 46 は、特に利用者が楽しめるような提案の工夫が評価された。
<p>・ モニタリング及び事業改善に関する実施計画</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 提案受付番号 14 及び 46 は、セルフモニタリングについて独自の提案がなされており、評価された。 ・ 提案受付番号 33 は、全体的に提案の具体性や独自性について、特筆すべき提案内容はなかった。

（２）総評

事業者検討委員会は、優先交渉権者決定基準に基づき厳正かつ公正に審査を行い、提案受付番号 33 を最優秀提案者、提案受付番号 14 を次点提案者として選定した。

各応募者の提案書類は、いずれも本事業に対する意気込みを感じさせるものであった。また、提案書類の作成にあたっての努力については、高く評価しており、各応募者の方々に敬意を払うとともに感謝する次第である。

今後、最優秀提案者として選定された提案受付番号 33 が、本事業の契約締結協議を行い、また、本事業を実施するに際し、事業者検討委員会から評価された具体的な提案内容を確実に実行することは当然のこと、本事業をさらによりよいものとするため、同グループにおいては、今後市と十分な協議を行い、特に、以下の点について配慮されることを要望する。

- ・ 基本協定締結後の速やかな検討の着手と共に建物本体事業者との協議を踏まえた提案内容の確定

- ・ 開業準備業務における速やかな体制構築及び具体的な実施計画の検討（特に人材育成・ネットワーク形成事業について）
- ・ 維持管理業務における実施計画の具体化（特に建物本体事業者との連携方法について）
- ・ 提案された個別の取組やプログラムに関する実現に向けた具体化
- ・ 事業全体のセルフモニタリング計画（特に運營業務）や市が設置する事業評価委員会の運営支援方策の具体化等の本事業のサービス水準を維持向上させる効果的な仕組みの確立

事業実施にあたり、福岡市と最優秀提案者とのお互いの経験とノウハウが合わさった良好なパートナーシップのもと、最優秀提案者においては、本科学館の目標像が実現するために、尽力されるよう期待するところである。